

伊良湖岬小学校候補地説明会（堀切校区） 議事要旨

日 時	平成26年2月18日(火)19時00～20時12分	
場 所	堀切市民館	
参加者	校区会長ほか（校区）	
	地域住民（男性・女性）	40人
	田原市（市）	教育委員会 前田部長、中村次長、山本課長
資 料	新設小学校の候補地について	

堀切校区会長：開会あいさつ

前田部長：あいさつ（提案の経緯説明）

中村次長：資料内容の説明（別添資料）

《主な意見等》

●新設小学校候補地について

問：岬中の体育館も古いので、新築できる予算を確保して欲しい。

答：4,5年前に体育館は、床の張替えや屋根の張替え工事を実施しているので、使用できる期間は、利用していきたい。

問：2案の学校用地25,000㎡は大きいような気がするが。

答：衣笠小は30,000㎡、若干余裕をみて提案している。

問：第2案の用地買収は、時間がかかるのか。

答：約20人の土地所有者の中には、相続などの関係もあるので、時間がかかると考える。平成32年度の建設スケジュールがずれ込む。

問：費用は、坪単価で計算しているのか。土地代、校舎の単価で算出しているのなら、2案のほうが安いのではないか。

答：4校が廃校になる可能性がある。将来的に中学校を小学校として活用する方法が良いと考えている。中学校の再編については、8校区での協議中であるので遅れると考える。

問：中学校の問題は、どこまで進んでいるのか。

答：各校区で調整中

意見：20年後でなくて、もっと先まで考えて学校を設置すべきでないのか。再編しても小規模校であるので、他の学校との統合の可能性を持った計画にすべき。

意見（学校教育課長）：教育現場の立場から伊良湖岬保育園の南側周辺は、東側に山があり大変風が強いことなどから教育環境としては、あまり良い場所でない。北側に山があり校舎から海が見えるなど教育環境面では岬中が良いと考える。

問：岬中が存続する可能性は

答：8校区の意見集約によることとなる。

問：住民の総意として岬中を残すこととなれば、校舎を新しくすることはあるのか。

答：住民の総意であれば残ることも考えられる。ただ、平成32年度に生徒数が80人について保育園では、早く再編を考えて欲しい意見もある。ある程度の学校規模で、勉強や部活動に取り組んで欲しいという要望もある。

意見：和地小の校舎をそのまま使って、岬中学校の移転時に新設校を設置したら。

答：伊良湖校区では平成32年度に新設校の設置を希望している。

問：中学校については、8校区で検討しているということだが、赤羽根中との統合はどうなったのか。

答：8校区からの要望書が出ているので、その協議結果を待ってからになる。

意見：8校区がまとまらなければ、赤羽根も含めて他の方法を検討して欲しい。

意見：中学校が進まないなら、北側を20,000㎡に拡張したらどうか。

問：教委としては、2案、3案どちらを進めているのか。

答：施設の有効利用から3案を進めたい。

問：岬中北側の地権者との交渉は

答：統合準備委員会など、会議へ提案することはお話した。

意見：3案に体育館を含めて候補地を提案して欲しい。

問：スクールバスの利用はどのようになるか。

答：原則としては、徒歩4キロメートル以上の子どもに通学の支援をすることとなっているが、統合による再編であるので、柔軟に対応したい。